

留学報告書

記入日：2024年6月5日

所属（学科）	農学部 生命科学科
留学先（国名）	タイ
留学先（大学名）	チュラロンコン大学
留学期間	2023年8月～2024年5月
留学した時の学年	3年生
留学先での所属学部	理学部
帰国年月日	2024年5月31日
明治大学卒業予定年	2025年3月

留学費用項目	現地通貨（Bht.）	日本円	備考
授業料（負担型の場合）	0	0円	
宿舍費	142,500	570,000円	
食費	87,500	350,000円	1ヵ月約 <u>35,000円</u>
図書費・学用品費	1,000	4,000円	
被服費	7,500	30,000円	
医療費	0	0円	
保険費	28,250	113,000円	
渡航旅費	32,500	130,000円	
雑費	30,000	120,000円	
その他	7,500	30,000円	
合計	336,750	1,347,000円	

渡航情報	
渡航費用	合計：130,000 円
渡航に際して利用した旅行会社や、ガイドブックを教えてください。	
滞在携帯関連	
(1) 種類 (留学中の滞在先について) (例：アパート、大学の宿舎など)	
大学のインターナショナル寮 (CU iHOUSE)	
(2) 部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数 人)	
(3) 住居を探した方法	
以前チュラロンコン大学に留学していた先輩からの情報	
(4) 感想 (滞在先の感想とこれから留学する人へのアドバイス)	
部屋には必要最低限の物だけが備えられており、共有スペースにはコインランドリーと電子レンジ 2 台がありました。キッチンはなく自炊はできませんでしたが、寮の近くに多くの飲食店があり、コンビニも近くにあったので食事に困ることはありませんでした。寮は大学の目の前にあるためアクセスは非常に良かったです。徒歩または大学の無料バスで自分の通っている学部まで行くことができました。	
現地情報	
(1) 現地で病院にかかったことはありますか。大学の医務室／診療所で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用した： <input type="checkbox"/> 利用する機会がなかった	
(2) 学内外で問題があった時には誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
明治大学 ASEAN センターの先生や友達に相談しました。留学先大学に相談していないので相談窓口があったのかはわかりません。	
(3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか。その際、どのように対処しましたか。	
日本大使館からの危険情報に関するメールや ASEAN センターの先生から情報を収集しました。夜中には 1 人で外を出歩かないようにしていました。帰りが遅くなってしまったときは友達に寮まで送ってもらっていました。 犯罪に巻き込まれたことはありません。	

(4) PC, 携帯電話, インターネット接続について, 現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネットが不安定で, 1週間に1度は全く繋がらない時があった。街にあるカフェではWi-Fi 接続が可能だった)

寮や学校の Wifi を使用していました。また, 12 か月インターネット使い放題のプランの SIM を購入しました。

(5) 現地での資金調達はどうのようにして行いましたか。

(例: 現地に銀行口座を開設し, 日本の親から送金してもらい, クレジットカードも併用していた)

現地に銀行口座を開設しました。デビットカードで現金を引き出し銀行口座に入金して使っていました。クレジットカードも併用していました。

(6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

運動靴

自分の足にあった靴を見つけるのが難しかったため, 履きなれている靴を持って行った方がよいと思いました。

(7) 【授業料負担型の方】 授業料支払い方法, 支払い時期について教えてください。

(例: 渡航前に自分のクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った)

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
（１）留学先で取得した単位数合計	（２）本学で認定された単位数合計
24 単位（うち、17 単位を単位認定申請）	16 単位
（２）以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
Trends in Biotechnology	
単位数	2
授業形態	講義形式（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回
授業内容	バイオテクノロジーの研究開発の現状、その応用分野、およびバイオテクノロジーの発展が与える影響について。
試験・課題など	中間試験、期末試験はなし。毎回の授業ごとに課題があった。
感想（自由記入）	様々な分野の研究について学ぶことができた。今まで勉強したことがなかった分野にも興味を持つようになった。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
General Biology I	
単位数	3
授業形態	講義形式（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
授業内容	生物の調節機能、細胞、遺伝学、生殖、進化、生物多様性などの生物学の基本的な内容。
試験・課題など	試験は中間試験、期末試験を含めて 4 つあった。課題は毎回の授業で出た。
感想（自由記入）	生物の基本的な内容を幅広く学ぶことが出来た。範囲がとても広く、試験が 4 つもあったため、勉強が大変だった。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
General Biology Laboratory I	
単位数	1
授業形態	実験（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	生命現象を理解するための基本的な実験を行った。General Biology I とセットの授業。
試験・課題など	中間試験と期末試験があった。授業の予習を行い、授業前に小テストを毎回受けていた。毎回の授業で、実験レポートをグループで完成させなければならなかった。
感想（自由記入）	様々な分野に関する実験を行い、グループでディスカッションをすることができたので面白かった。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
Communication & Presentation Skills	
単位数	3
授業形態	ディスカッション形式（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	プレゼンテーション、会議、就職面接のスキル。個人でのプレゼンテーション、グループプレゼンテーション、グループミーティング、ジョブインタビューの練習を行った。
試験・課題など	中間試験はなく、期末試験のみ。毎回の授業で課題があった。
感想（自由記入）	プレゼンテーションやグループミーティング、ジョブインタビューなどの必要なスキルについて学び、授業内で実践できたので、とても役に立った。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
Biology of Diseases	
単位数	3
授業形態	講義形式（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	免疫、ウイルス、寄生虫による感染症、有毒動物、非感染症、癌、環境汚染が与える影響など。
試験・課題など	中間試験と期末試験があった。授業によっては課題があった。最終授業ではグループプレゼンテーションを行った。
感想（自由記入）	病気の原因、治療法などを学ぶことができた興味深い講義だった。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
Elementary Food Technology	
単位数	3
授業形態	講義形式（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	食品保存、加工の過程、食品科学などについて。
試験・課題など	中間試験と期末試験があった。授業後には、理解度を確認するための小テストがあった。最終課題はグループで行った。
感想（自由記入）	今まで食品に関する授業を受けたことがなかったが、初学者でもわかりやすい授業であり、食品に興味を持つきっかけとなった。

履修した授業科目名（留学先大学言語 or 英語）	履修した授業科目名（日本語）
Introduction to Agricultural Economics	
単位数	3
授業形態	講義形式（講義形式・ディスカッションなど）
授業時間数	1週間に180分が1回
授業内容	農業市場、需要と供給、マーケティングなどの農業における経済学。
試験・課題など	中間試験と期末試験があった。最終授業ではグループプレゼンテーションを行った。
感想（自由記入）	タイや世界での農業経済の現状や市場の仕組みを学ぶことができた。

●留学中の一週間のスケジュール（例）

※授業だけでなく課外活動・交流会・自習・その他自由時間の活用についても具体的にご回答ください。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
朝							
午前中	Trends in Biotechnology	Trends in Biotechnology	General Biology	General Biology Laboratory			
	General Biology	Basic Thai for Foreigners	General Biology	General Biology Laboratory			
午後			Communication & Presentaion Skills				
			Communication & Presentaion Skills				
夜	自習	自習	自習	自習			

●留学体験記

以下の項目について、それぞれ 200 字程度で具体的にご回答ください。

<p>準備しておけばよかった事</p>	<p>タイ語、タイの文化、歴史、習慣、政治について事前に学んでおくべきでした。英語に関しては、専門用語を事前に学んでおけば、そこまで苦勞することはなかったと思います。また、現地到着直後は生活に必要な物を買いたい場所や食事の場所などわからないことが多く苦勞しました。そのため、生活に必要な物を買える場所や飲食店などの情報を事前に調べておくよかったと思いました。</p>
<p>留学先を選んだ理由</p>	<p>チュラロンコン大学はタイの東大として知られ、優秀な人が集まり、留学生も多く在籍しています。この大学では、レベルの高い教育が受けられ、国際的な環境で勉強できると考えたためです。チュラロンコン大学ではインターナショナルのコースを設置しており、英語で授業を受けることが出来ます。さらに、農学部の協定留学制度で留学先の授業料が免除されるため、留学費用の面でも魅力を感じたからです。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>優秀な人が多く、勉強熱心な学生が多かったです。試験期間になると夜遅くまで勉強している姿がよく見られました。大学内には充実した学習環境が整備されており、勉強に集中して取り組むことができました。大学内のクラブ活動も積極的で学生が自らスポンサーを探してイベントなどを頻繁に開催していました。英語が第二外国語であるにも関わらず、インターナショナルコースの学生はほぼネイティブレベルの英語を話していました。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>インターナショナル寮には多くの留学生が住んでいました。住人同士の交流は少ないように感じました。寮の裏側には多くの飲食店があり活気があります。寮はバンコクの中心地に位置しており、どこへ出かけるにも、とても便利でした。寮に入るためのドアとエレベーターには専用のカードが必要になります。エレベーターは自分の住んでいる階にしか行けないようになっていました。さらに、24 時間、窓口にスタッフが常駐しており、セキュリティがしっかりしていたので、安心して暮らしました。</p>
<p>交友関係</p>	<p>1 年生から 3 年生までの授業を受けていたため、それぞれの学年のクラスメートと仲良くなりました。授業後はクラスの友達と一緒に学食で昼食を食べていました。学科の授業以外に、外国人向けのタイ語の授業を受講していたことで、中国・インドネシア・韓国・カナダからの留学生と仲良くなり、お昼や夜ご飯、遊びによく出かけていました。また、インターナショナルクラブやバスケットボールクラブに所属しており、タイ人の友達とも仲良くなり、一緒に食事や遊びに行くことが多かったです。</p>

<p>困った事・大変だった事</p>	<p>ビザの申請や延長、授業の履修登録などは手続きが多く大変でした。授業が始まる前に学科のオリエンテーションがなく、何もわからないまま授業が始まってしまったことは大変でした。また、4年時の5月に帰国したため、大学院試験の勉強や大学院出願のための書類作成などを留学中に準備する必要があり大変でした。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>生物実験、病気・ウイルス学、食品科学、プレゼンテーションの授業などを履修しました。生物学の中でも様々な分野の講義があり、今まであまり触れていなかった分野にも興味を持つようになりました。1コマが3時間で、授業の形式はほとんどが講義形式でしたが、プレゼンテーションの授業ではグループディスカッションがメインでした。中間試験や期末試験の期間は大学の図書館でよく勉強をしていました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>授業によって課題の量や内容は異なりますが、毎週課題を提出しなければならない授業や、予習が必要な授業がありました。また、授業後に理解度を確認する小テストを受けることもありました。授業によっては個人でのプレゼンテーションに加え、グループプレゼンテーションがありました。試験範囲はとても広く、準備に時間がかかりましたが、しっかりと勉強すれば問題はありませんでした。試験の形式は選択問題とライティング問題でした。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>タイの北部に行き、お寺の修復を手伝うボランティアや通訳のボランティア、現地の子どもたちと関わるボランティアをしました。フィールドトリップにも参加し、タイの文化や習慣、仏教について学びました。また、JICAや在タイ日本大使館に伺う機会を頂き、講義を受けました。週末や試験後には友人とタイ国内を旅行していました。</p>